
戦争学園 無双

高杉新八

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦争学園 無双

【Nコード】

N0773Z

【作者名】

高杉新八

【あらすじ】

とある事件をきっかけに町を出て行くこととなったひとりの高校生。彼は、全国の高等学校を制圧し、天下を取ろうと動き出す。各県に君臨する猛者を撃破し、見事天下を取ることはできるのか！

プロローグ

――新林室駅しんはやむろえき――

「マジで行っちまうんだな・・・」

「ああ・・・やっぱり俺には、この町は小さすぎたんだよ」

「でもまた！いつか必ず帰って来いよ！」

「もちろんだ・・・じゃあいつらによろしくな」

「おうっ絶対天下、取って帰れよ！！」

2039年、8月20日　10年前から、日本列島に新たな県が誕生した。石川県北部に、政府が新たに県を作ったのが「善宝県ぜんほうけん」その第二の都市である林室市の駅に、男が2人。

1人は「赤星祐一あかほしゆういち」。林室市立葉願高校の1年生。彼は、友情を命と同じくらい尊重し、正義感も強く、たくさんの人から信頼される男だ。1年生の全員は、彼の友であり、仲間である。「1年狩り」を楽しむ3年生を、持ち前の剣術で見事に降伏させた、1年の救世主だったが、ある事件をきっかけに、この町を出て行くことになったのだ・・・

もう一人は、「波春馬なみはるま」。祐一の親友。祐一が唯一見送りを望んだ存在。

祐一とは中学校時代からの馴染みで、お互いを認め合い、共に3年生と戦った。

厚い絆で結ばれた2人は、再会の約束の下、別れる事となった。

「また、な。　近いうちに　また会おう」

そう言い残すと、祐一は電車に乗った。その時の後姿は、春馬にと

って、いままでで一番大きく見えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0773z/>

戦争学園 無双

2011年12月2日22時46分発行